



ご挨拶

7月の役員改選に伴って新体制が発足し、各委員会では気持ちを引き締めて本格的に実働を始めています。三崎めぐみ前支部長のリーダーシップのもと、前役員の方々が築いてこられた、明るく、優しく、温かい支部の雰囲気大切に、これからも会員の皆様の痒い所に手が届く運営を目指す所存でございます。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

さて、新型コロナ感染に関しては、まだまだ油断できない毎日が続いておりますが、徐々に日常を取り戻しつつあります。何かと不自由ながらも、利用者の方々と接する機会が少しずつ増えてきました。皆様も、再び音楽療法士として創意工夫を重ねる日々をお過ごしのことと思います。

そうした中、8月には「音・音楽による対話がもたらすもの～人は音楽療法に何を求めるのか～」というテーマのもと、高知市で第17回日本音楽療法学会四国支部学術大会が開催されました。皆様のお陰をもちまして、盛況のうちに成功裏に終えることができました。ご参加、ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。また、9月には広島市で第22回日本音楽療法学会学術大会が対面とオンデマンドの併用で開催されました。「コミュニティでの共生を支える～音楽療法の役割を考える～」のテーマで行われ、コミュニティ音楽療法の幅広さと、その意義に気づかされる良い機会となりました。

コロナ禍の中で、人と人との生でのやりとりの大切さに加えて、地域に根ざし、助け合い、刺激し合う中で共存していくことの意味を今一度考えながら、クライアントと対峙していける幸せを噛み締めていきたいと思っております。

めまぐるしく変化する社会情勢の中で、音楽療法士として大切に続けることと変革していくことの狭間で、悩ましい日々ではありますが、音楽療法を必要とされているすべての方々のために、ともに邁進してまいりましょう！

支部長 岩永十紀子

四国支部総会のご報告：2022年8月7日 16:00～開催

四国支部長と事務局長が都合によりご欠席だったため、今回の支部総会は、四国事務局員の尾立真紀先生の進行により、開催いたしました。現地での参加者および委任状により、定足数を満たして開催できました。議事は滞りなく進行し、次年度の四国支部学術大会の担当は徳島県であることを確認し、総会が無事に終了いたしましたことをご報告申し上げます。

事務局 786-0303 香川県仲多度郡まんのう町七箇 2616-1 栗田京子 気付

TEL : 090-8979-7499

FAX : 0877-77-2136

E-mail : shikoku.mt@gmail.com

ホームページ:

<http://www.jmta-shikoku.sakura.ne.jp>



Facebook : アカウント取得後、ページ内で

『日本音楽療法学会四国支部』 検索

第17回日本音楽療法学会四国支部学術大会を終えて

大会長 上羽（糟谷）由香

2022年8月7日(日)、高知市内のCHRES(シリーズ)にて、第17回日本音楽療法学会四国支部学術大会を盛会のうちに、無事終えることができました。ご参加くださった皆さま、そして本会開催にあたり、さまざまな形でご協力賜りました皆さま、ありがとうございました。

高知に移住してまだ3年目の昨年、高知在住の音楽療法士の方々をよくは知らない状態での実行委員会発足でしたが、本当に素晴らしいチームワークで、大会後に実行委員会ミーティングがなくなったことを寂しく感じる日々です。雫裕子実行委員長率いる実行委員の先生方とこの1年、私たち自身が心弾む企画内容で準備を進めてこられ、それが結実したことに、当日は胸がいっぱいでした。ご参加いただいた皆さまから、久々の対面現地開催で仲間とともに学び合えたこと、そして充実した学びの場であり、今後の私たちの課題を考える貴重な機会となったこと等ご感想をいただき、実行委員一同、大変嬉しく思っております。

今大会は、新型コロナウイルス感染症が再び猛威を振るい始めた中、高知市での現地開催だったにもかかわらず、県内外から、また四国圏外から、100名の方々にご参加いただきました。驚くべきはその割合で、専門学会としてはめずらしいことだと思いますが、学会員と一般でほぼ半々で、多くの医療福祉教育関連職の方々がご参加くださいました。

今回、大会長講演と教育講演は、一般の方々とも「音楽療法」を共有したいという思いと、自閉スペクトラム症や注意欠如・多動症などの神経発達症に関する学びを、多くの方々とともに深めたいという思いから、市民公開講座といたしました。

教育講演の講師を務めてくださった京都大学大学院医学研究科の十一元三先生は、この道の第一人者のおひとりです。長年従事してこられた当事者の方々に寄り添った医療と、さまざまな視点で神経発達症の解明に挑んでこられた研究成果によって、神経発達症医療の発展に大きく寄与してこられた先生で、神経発達症の方々が抱えるニーズと支援の在り方について、非常にわかりやすくお話くださったこと、非常に深い学びを得られたことが、参加者の方々に大変好評でした。

午後のシンポジウムでは、音楽療法士と深い関わりを持たれている他職種専門家の先生方を招聘し、対象者の方々および他職種専門家の先生方が音楽療法に何を期待し、どのような課題を感じておられるのかについてお話しいただきます。こういった種類のシンポジウムでは、どなたにご登壇いただくかが肝となりますが、実行委員会で議論を重ねた結果、ご依頼させていただいた4名の先生方がそれぞれのお立場から、本当に素晴らしいご発表をくださり、さまざまな視点から「音楽療法」というものを捉え直す機会となり、今後の課題を見いだすことができたシンポジウムでした。シンポジウムのコーディネーターを務めてくださった尾立真紀先生のおかげで、2時間たっぷり、登壇者の先生方のご意見やお考えを伺うことができ、そしてフロアとのディスカッションを楽しむことができました。個人的には、このまま後2~3時間ディスカッションが続けばいいのと思うほど、有益かつ有意義な時間でした。

今回、会員による研究発表も非常に充実しており、口演・ポスター発表合わせて6題あり、それぞれに着眼点がユニークでおもしろく、音楽療法の多様性を感じられました。活発な会場とのディスカッションが繰り広げられました。やはり、同じ時空間で、志を同じくする仲間や関連職の方々と「熱」を共有できると、明日からの臨床や研究の力になります。



今回は、感染症ガイドラインや感染症を専門とする看護師の助言を賜りながら、感染対策を徹底して対面現地開催といたしました。そのために実行委員の先生方には、多大なる時間と労力を費やしていただきましたが、その甲斐があったのではないかと感じております。

今大会で得られた学びを、音楽療法を必要とされる1人でも多くの方々に音楽療法を届けられるようになるよう、日々の臨床・研究活動に反映させていただきたいと思っております。

最後に、この1年間、大会開催に向けて多大なる時間と労力を割いてくださいました実行委員の先生方に、深く感謝申し上げます。それぞれにご自身のお仕事を多く抱えておられる先生方ですのに、それを感じさせないほどのお働きと、「チームワーク」の理想的な機能をお示しくださったことに、心より御礼申し上げます。ありがとうございました。



※写真撮影時のみマスクをはずしています

四国四県の認定団体 ～報告・ご案内～

報告:こうち音楽療法研究会 無料音楽療法体験の取り組み

今回、四国支部大会が高知で行われるにあたり、大会のチラシを県内の病院や施設、学校に配布する準備をしました。その際、「まだまだ音楽療法が入っていない施設や市町村がある、もっと認知してもらうには、まず体験してもらおう」と思い、あったかふれあいセンターに、こうち音楽療法研究会より「無料音楽療法体験会」の案内を送付しました。結果、締め切りまでに5箇所の申込があり、9月に2箇所の体験会を行いました。

※あったかふれあいセンターとは・・・

高知県独自の制度 子供から高齢者まで、年齢や障害の有無に関わらず、誰もが1ヶ所で必要なサービスを受けられる小規模多機能支援拠点 運営は市町村が社会福祉法人、特定非営利法人、その他の法人に委託して運営されている

1箇所目は佐川町であったか利用者の高齢者対象 2箇所目は東洋町で職員対象に行いました。参加いただいた方は皆さん「音楽療法は全く初めて」ということでしたが、参加された利用者の方からは「あっという間だった」「本当に楽しかった」と直接感想をいただきました。

職員の方々からは、「利用者さんが生き生きしていた。笑顔があふれていた」また、研究会への希望として「研究会があることを知らなかったのでどんどん活動していただきたい、認知度をもっとあげて広めて欲しい、定期的にきていただくことはできますか、」という言葉アンケートにていただきました。

実際、東洋町からは12月に2回来て欲しいと早速依頼がありました。

ここまで喜んでいただき、良い評価をいただき、また応援していただけるとは思っていなかったもので、感想や実際の依頼はとても嬉しいものになりました。

体験会の運営は、研究会員の希望者で「あったか勉強会」を組織し、メンバー内で日程の合う人が体験会に伺うこととし、勉強会内で事前に内容の検討、ロールプレイを数回行ない事前準備を進めてきました。普段は現場で1人でセッションをすることが多い私達にとって、体験会に向けて計画を立てたり、他のメンバーのセッションを受ける機会ができ、「自分のセッションを見直す機会になった」「改めて音楽は良いと感じた」「一緒にできるのは楽しい」と研究会員より感想が聞かれ、体験会を計画して良かったと思えました。

残りの希望箇所へも日程が調整次第体験に伺う予定です。実施報告は「こうち音楽療法研究会」のFacebookにアップするのでそちらをご覧くださいと思います。

認定講習会・勉強会のご案内（11月以降）

2022年11月20日（日） 10：00～13：00 音楽を紡ぐ里・フロイデ 2022年度音楽療法基礎講座	「楽器のテクニックⅢ」 児玉令江子先生 対面 社会福祉法人いいのやま福祉会 野の花生活介護内 参加費 4000円 認定番号 HAK-H0036（レポート提出により参加ポイントが発生）
2022年11月20日（日） 13：00～16：30 こうち音楽療法研究会 第17回こうち音楽療法研究会 講習会	「高齢者がいきいきと暮らしていくために ～日常生活に必要な動作から筋肉や体操について～」桂雅俊先生 対面 ふくし交流プラザ 高齢者能力開発室 参加費 研究会会員 1000円 非会員 3000円 認定番号 HAK-H0030（出席確認にて参加ポイントが発生）
2022年12月14日（水） 17：00～20：00 四国MT研究会 音楽療法研修会	「音楽療法研修会（ポイント付、セミナー&相談会）」 板東浩先生 対面 渭東コミュニセンター2F 参加費 2000円 認定番号 HAK-H0032（出席確認にて参加ポイントが発生）
2023年1月29日（日） 9：00～12：15 西瀬戸音楽療法研究会 2022年度勉強会	「子供からお年寄りまで実践できる脳と身体をつなぐ簡単運動遊び」 青木謙介先生（講演） 「認知症になりたくない！今できること、これからできること」 新緑（会員講演） オンライン開催(zoom) 参加費 学会員 2000円 非会員 3000円 認定番号 HAK-H0035（レポート提出により参加ポイントが発生）

第18回日本音楽療法学会

四国支部学術大会 in 徳島

日時：2023年11月～12月頃（日）

現在会場の準備、大会内容の企画中です
詳細が決まり次第、ホームページや書面にてお
知らせいたします

四国支部LSC第3回講習会

日時：2023年3月

講師：未定

内容：未定

詳細が決まりましたら、四国支部会員のみ
なさまにご案内させていただきます

編集後記 急に寒くなり秋？冬？らしくなってきましたが、各県でさまざまな勉強会が予定されていたり、地域での活動に取り組みられているなど活気と熱気にあふれている様子がうかがえます。四国会員のみなさまにお知らせしたいことがありましたら、事務局のメールまでお寄せください！（広報・森本）